

公益財団法人日本文学振興会

令和4年度事業報告書

1. 令和4年4月19日（火）午後4時より、東京會館「アゼリア」にて、第29回松本清張賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

**天城光琴「凍る大地に、絵は溶ける」**（出版時に『凍る草原に鐘は鳴る』と改題）

その贈呈式および披露は6月22日（水）午後4時より東京會館「SAKURA」にて開催（大宅壮一ノンフィクション賞と合同）、受賞者に正賞時計、副賞500万円を贈呈した。

2. 令和4年5月12日（木）午後4時より、東京會館「アゼリア」にて第53回大宅壮一ノンフィクション賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

**鈴木忠平『嫌われた監督 落合博満は中日をどう変えたのか』**（文藝春秋刊）

**樋田毅『彼は早稲田で死んだ 大学構内リンチ殺人事件の永遠』**（文藝春秋刊）

その贈呈式および披露は6月22日（水）午後4時より東京會館「SAKURA」にて開催、受賞者に正賞100万円と副賞の日本航空株式会社提供による国際線往復航空券を贈呈した。

3. 令和4年7月20日（水）午後4時より、築地「新喜楽」にて第167回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

**芥川賞 高瀬隼子「おいしいごはんが食べられますように」**（「群像」1月号）

**直木賞 窪美澄『夜に星を放つ』**（文藝春秋刊）

その贈呈式および披露は8月26日（金）午後4時より帝国ホテル東京「孔雀の間」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

4. 令和4年10月4日（火）午後5時より、帝国ホテル東京「鶴の間」にて第70回菊池寛賞選考顧問会を開き、下記の5件の授賞を決定した。

①宮部みゆき

デビューから35年、社会性を持つ現代ミステリーから、時代小説、SF、ホラーまで、数々の優れたエンタテインメント小説を発表。多くの人を読書にいざなう

## ②三谷幸喜

劇団旗揚げから40年にわたり、コメディから「鎌倉殿の13人」等のシリアスな歴史劇まで、舞台、テレビドラマ、映画のすべてですぐれた作品を生み出し続ける

## ③信濃毎日新聞社「<sup>いつついろ</sup>五色のメビウス」取材班

コロナ禍の地域社会における外国人労働者、外国人住民の過酷な実態を丹念に取材。国の制度の問題を明らかにし、多様性を尊重し共生できる社会の在り方を提言

## ④NHK「映像の世紀バタフライエフェクト」

各国のアーカイブス映像で現代史をたどる人気シリーズに、一人のささやかな営みが連鎖し世界を動かしたという新たな視点を導入。歴史の尽きぬ魅力を伝えている

## ⑤羽生結弦

フィギュアスケート男子シングルで五輪2大会連続金メダル、主要国際大会全制覇などの輝かしい記録を達成。プロ転向を宣言し、さらに挑戦を続ける

その贈呈式および披露は12月2日(金)午後4時半より、オークラ東京「オーチャード」にて開催、受賞者に正賞時計と副賞100万円を贈呈した。

5. 令和5年1月19日(木)午後4時より、築地「新喜楽」にて第168回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 井戸川射子「この世の喜びよ」(「群像」7月号)

佐藤厚志 「荒地の家族」(「新潮」12月号)

直木賞 小川哲『地図と拳』(集英社刊)

千早茜『しろがねの葉』(新潮社刊)

その贈呈式および披露は令和5年2月22日(水)午後5時より東京會館「ローズ」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

以 上